

行事紹介

ナショナルコンファレンス2022

延期されました、ナショナルコンファレンス2022、4月16日17日に開催されました。今回、その日迄に、全国でいろいろなリモート講習会が実施され、リモートのお陰で、私は、四国ブロックの方と合同で、四国で渡かれた和紙を使って、紙傘敷を作りのお手伝いをさせていただきました。

その和紙は四国の青年部の方が渡されたもので、カラフルな和紙、厚みが異なる和紙、個性あふれる紙でした。私は、渡された和紙の事前準備、指導だけでしたが、四国ブロックの方の思いが形となっていく過程を見れ、当日のお茶会に使われていた時は、本当に感慨深かったです。そのような道具が、全国のブロックから一つずつ集まりました。一つ一つでは道具が繋がっていき、お茶会で使われて、一つの作品になる。大変貴重な経験をさせていただきました。

又、当日は、各ブロックでブースに、青年部紹介を展示する事に、近畿第一ブロックは、各青年部の名産品とパネルを展示させていただきました。

各青年部、一つ一つの特徴が出過ぎて、少しくちゃくちゃ感がありましたが、いろんな青年部の思いが一つになり展示される、こちら

も繋がりが目で見える貴重な体験でした。

その他にも、若宗匠との対談、宗家でのお茶会、盛り沢山のナショナルコンファレンス2022でした。

両丹青年部 衣川 充洋

令和4年ブロック研修会を終えて

令和4年8月21日、琵琶湖グランドホテルにて令和4年度近畿第一ブロック研修会が催されました。

未曾有のコロナ禍で、昨年開催された北部三青年部によるオンラインでのブロック研修会を経ての、リアル開催となりました。何より印象に残っているのはNHKの元アナウンサーであり、現在は講師として活躍されている、末利光先生による『間の文化』のご講演です。新しい視点から茶道について、茶道を含む様々な事柄に通ずる『間』について知ることができ、大変興味深い聴講でございました。

また身近な道具を用いた『未来茶会』では全く新しいお茶会の体験を、花月の実演では会場に設えてくださった畳の舞台上にて、息のあった茶室内の様子を学ぶことができました。

近畿第一ブロック所属のいずれの青年部員にとっても、大いに実りある研修会となりました。

令和4年度近畿第一ブロック交流会

令和4年11月13日に行われた次年度役員研修会後、ブロック所属青年部員の皆様をお招きして、近畿第一ブロック交流会を開催させていただきました。

朝から雨が降り足元が悪い中で、またこのコロナ禍では参加し難い方も多いのではないかと懸念もありましたが、45名の青年部員が参加してくださり、コロナ禍以降、初めてのリアルでの大交流会となりました。

このような状況下ですので、早茶は各テーブルでそれぞれに点でて頂き、余興も移動せずにテーブルでできる内容をご用意しておりましたので、交流はしていただけるだろうかと心配しておりましたが、3年ぶりということも手伝ってか、青年部紹介でもご用意した余興でも大変盛り上がり、皆様のお力のお陰で楽しい交流会になったように感じております。

委員長として初めての交流会となり私などでは役者不足でございましたが、開催に導いてくださった岡村副ブロック長、当日大いに助けてくださった北原幹事長や事務局の皆様、ブロック出向員の皆様にはこの場をお借りしてお礼申し上げます。

奈良青年部 大西 未奈子

裏研合同行事

アスニー京都にて関西裏千家学生茶道研究会の皆様と合同行事を行いました。ここ数年はオンラインでの行事でしたので3年ぶりの対面開催となりました。学生より「茶道具の制作をしたい」と希望があり、副ブロック長の三木崇司さん(西青年部)による、茶杓作り体験と同会場のお茶室にて各大学のお道具を持ち寄り、お呈茶席を設けました。有難いことに学生からは予定を超える参加がありました。青年部からの参加が少なかったことが残念でした。なるべく学生たちと交流すべく大学生活についてや茶道やお稽古についての話をするコミュニケーションを心掛けました。



間

風

機関誌命名 鶴雲斎大宗匠
題字揮毫 納屋宗淡師

同風 第31号
発行所 茶道裏千家淡交会青年部
近畿第一ブロック
発行人 ブロック長 中澤利之
発行日 令和4年12月1日

茶道裏千家淡交会青年部
近畿第一ブロック



http://chakai.com



ブロック長挨拶

令和三年・四年度ブロック長

中澤利之

「看脚下 ―心と心のつながりを大切に―」のもと、新型コロナウイルス感染症の影響がいつまで続くのか心配しながらも、皆さんと共に青年部活動が行えるようブロック運営が出来ないかを模索してまいりました。

その中で4月にハイブリッド開催となりました青年部ナショナルコンファレンス2022は大きな自信と励みになりました。同時に今後の青年部活動への在り方を示してくれたものでした。現地で顔と顔を合わせて語り合う、コロナ禍を経て今こうして出来ることに感謝の気持ちでいっぱいです。

ブロック内でも3年ぶりの現地開催を目指した8月21日ブロック研修会(滋賀)、11月13日役員予定者研修会、交流会、11月19日裏千家学生茶道研修会さんとの合同事業を無事に現地開催にて行事を行うことが出来ました。各事業を担当頂きましたブロック役員の皆様、ブロックと青年部の懸け橋となつて下さった青年部部長の皆様、行事に参加してくださいました会員の皆さま、心より感謝申し上げます。

今後もブロックは皆さんと共に歩んでまいりたいと思います。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。2期4年間ありがとうございました。

青年部紹介

滋賀青年部 部長

田中 三喜男

本年度は滋賀主管のブロック研修会を元NHKアナウンサー、末利光先生を講師にお迎えして「間の文化」と題してご講演を頂き、3年ぶりとなるリアル開催をすることが出来ました。親支部の先生方をはじめブロック間交流の多くの皆さまにご参加いただきありがとうございます。コロナ禍における活動の制限がある中で「茶道の実践」を実現することが出来たと思います。

また、通年の行事といたしまして6月には支部合同で己高庵にて薄茶席、7月には県下の高校大学に参加いただいた三者合同茶会を開催させていただきました。その他、コロナ禍の影響で開催が中止になった行事もございましたが、実際に茶会を開催すると例年よりも多くの皆さまが参席する状況でした。今後もコロナ禍の影響がつづくと思えますが、状況に応じて青年部活動を歩みたいと思えます。

奈良青年部 部長

俵 裕史

奈良青年部は百名近くの会員で活動している青年部です。主な活動内容は、奈良の神社やお寺、会館での小寄茶会の開催や、講演やモノ作り体験、美術館見学などのセミナーの開催です。

3期ブロックに出向させていただき青年部とはまた違う経験や出会いがたくさんありました。いろんな事を思いながら自作の茶杓の銘は「新世界」とつけました。この茶杓を披露する為にもこれからも茶道に精進して参ります。

至らない私を支えてくださった中澤ブロック長、北原幹事長、檜垣担当副ブロック長ありがとうございました。そして何より！三木副ブロック長!!制作だけでなく、茶杓についての知識や学生から笑いが起きるような楽しい話を交えながらの体験、充実した時間でした。ありがとうございました。

京都南青年部 角田潤子

編集後記

皆さまのご協力により、無事に同風を発行することができました。心よりお礼申し上げます。

今年はオンラインとのハイブリッドではありましたが無事、ナショナルコンファレンス2022も開催され、ブロック研修、ブロック交流会も感染対策を施した中、遂に、オンラインで開催されました。仲間と共に同じ空間で、同じ時間を過ごし、感動を分かち合う事が出来る幸せを改めて感じた一年となりました。来年も近畿第一ブロックをよろしくお願ひいたします。二年間ありがとうございました。

広報委員会委員長 宮本悠介 京都北青年部

QRコードからアクセス



近畿第一ブロック HP



近畿第一ブロック FB

機種や読み取りソフトによっては読み取れない場合があります。操作方法は、お使いの機種やソフトによって異なりますので取扱説明書等でご確認ください。

検索ボックスから検索

近畿第一ブロック

http://chakai.com

現在はコロナ禍で中止が続いていますが、青年部O G O Bの先生方と一緒に数百名規模の茶会を開催したり、東大寺での献茶施茶席や、東大寺万灯供養会での呈茶席をさせていただいたりしております。また再開されましたら、皆様のご参加をお待ちしております。現在、奈良青年部には三つの班があり、班単位で行事を担当したりと班単位の活動にも力を入れています。これからも、会員一人ひとりが色々なことを経験や勉強することが出来る青年部を目指して、日々活動していきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

次年度も皆さんと楽しく学べる行事を計画して参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。



京都東青年部 部長 初田 英人

本年もコロナ禍でのスタートとなりましたが、もう慣れたもので当初よりコロナ対策をした茶会を企画し予定通り実施いたしました。

5月に「レクリエーション茶会 in 八幡」とし松花堂庭園の日曜茶会に参加し、庭園散策後吉兆さんから松花堂弁当をいただきました。その後いちご農園でいちご狩りを楽しみ、木津川の流れ橋近くで茶会を行いました。会員と家族が参加し楽しい1日を過ごしました。

10月は「レクリエーション茶会 in 宝ヶ池」とし宝ヶ池公園・北園で手ぶらBQ&野点茶会を行いました。会員がお茶に興味のある友人をお誘いし2名の新入会を迎えることが出来ました。11月には「卒業茶会」は下鴨神社・糺の森にて野点茶会とし卒業生が感謝を込めて開催して頂き

ます。すべて屋外での茶会、イベントにすることで中止や延期をすることなくコロナ禍を乗り越えることが出来ました。会員みんなで知恵を出し合い、楽しむことを忘れずに活動出来たことが何よりでした。これからも「お外」で楽しく活動して行きます。



京都南青年部 部長 小山 元也

京都南青年部の今期は「一碗から出会いをつなげよう」のテーマのもと活動をスタートいたしました。お茶を通じた出会いや活動による経験や学びの機会も出会いとらえそれをつないでいくことを目標に定めて運営してまいりました。コロナ禍での活動は毎月必ず役員会と例会をオンライン形式で開催し、互いの近況を報告するなど交流を継続できるように努めました。年末には卒業生と共に部内茶会「ありがとう茶会」を開催することができました。2年目からは会議のリアル開催とオンラインを併用して交流を深め、NC2022のプレ行事では青年部の藤井弘之氏の掛軸についてのオンライン研修会や、中村正史氏のオンライン交趾焼絵付体験等、全国の青年部会員の皆様にも参加していただきました。夏には家族も参加してキャンプサイトで野点をした「夏祭り茶会」を開催、秋には3年ぶりの大寄茶会を宇治の興聖寺「琴秋茶会」を開催してお客様をお招きしたりと、少しずつではありますが、皆で集まっていた活動を進めることができました。今後も京都南青年部らしく笑顔で仲良く、様々な出会いに学び、楽しむことができる。そんな青年部活動となることを目指してまいります。



京都西青年部 部長 岡野 真之

京都西青年部は「つづける、つながる、強い心と思いを」をテーマのもと活動を展開しています。昨年度同様コロナ禍により年初から活動が十分にできないと思われたものの、3月には書面での総会開催となつてしまいました。5月にはウエスティン都ホテルにて新樹茶会、8月には納涼会として三木崇司会員による茶杓作り体験と久しぶりに懇親行事をリアルで開催することができました。11月には大寄せ茶会と三者合同事業、12月には納会を開催できるよう準備を進めています。このように役員、会員の皆さんの弛まぬ努力のおかげでこれまでのことができたのですが、コロナ禍によって以前より集まる機会は減り、オンラインでは伝わらなかったことにより部の運営に支障を来しています。今後コロナ禍が続いたとしても、リアルに集い言葉と気持ちを交わす機会をできる限りつくり、会員の皆さんの思いを盛り上げていけるようにしたいと考えています。

京都北青年部 部長 田中 俊幸

本年は5月に、部内行事の「茶摘み体験、並びに抹茶の製造・加工過程の見学」にて京田辺市は奥西緑芳園さんにお世話になりました。お茶の奥深さを知る、大変充実した一日でした。後日、いただいた若葉の天ぷらと碾茶ふりかけがまた美味しく、改めて感動いたしました。

10月には三者合同行事「口切茶事の研修会」を茶道研修会館で行い、小澤清風園 小澤先生と、今日庵業林部より徳丸先生にご講演いただき、口切について学びました。

そして、11月には5月に摘んだお茶を使い、京都北青年部では3年ぶりのお茶会となります「口切茶会」を開催いたします。久しぶりのお茶会という事もあり、期待と不安が入り混じっていますが、楽しむ事を忘れず、お客様をお迎えしたいと一同考えております。

2023年はさらに活動の輪を広げていけるように取り組んで参ります。



宮津青年部 部長 藤田 美紀

コロナ禍が少し落ち着いてきた10月に、支部行事の一つでもある三者合同茶会にて本席を担当させていただきました。青年部自体が席を持つこと自体が久しぶりで不安

但馬青年部 部長 井上 奈巳

但馬青年部は現在会員34名です。2022年の活動は6月に七夕をテーマにしたお茶会、親支部との合同茶会、青年部は学茶の高校生と浦島太郎をテーマにした茶席をもちました。秋は大正ロマンをテーマにお茶会、研修会は茶杓作り体験を行いました。

久しぶりの茶会にあたふたとしながら、また研修もお道具の作られる工程を勉強させていただき楽しく活動出来ました。



両丹青年部 部長 永登 裕芳理

両丹青年部は新入会員を加え36名の会員で活動しております。2022年も総会は残念ながら中止となつてしまいました。1月は毎年恒例のガールスカウトマナー教室、7月には例会として野点を行い、10月に小規模ではありましたが3年振りとなるお茶会を開催することができました。

お茶会は「さいかい茶会」と称し、会員同士、そしてお世話になってる先生方とお茶会での「再会」、そして青年部活動を少しづつ「再開」できた喜びを噛み締めました。お客様をお迎えする緊張感も懐かしくもあり、改めてお茶の素晴らしさを再確認できる事となりました。

2023年はより多くの会員とより多くの活動ができるように取り組んで参りたいと存じます。



2022年のあゆみ

2月6日	ブロック協議会	於…オンライン
4月16日	ナショナルコンファレンス2022	
8月17日	於…国立京都国際会館 / オンライン(ハイブリッド)	
8月21日	ブロック研修会(滋賀青年部 主管)	於…琵琶湖グランドホテル
11月13日	次年度役員予定者研修会	於…福寿園
11月19日	ブロック交流会 於…ダイニング居酒屋 nanana	
	裏千家学生茶道研究会合同行事	於…京都市生涯学習総合センター

2月7日	ブロック協議会	於…オンライン
10月3日	ブロック研修会	(宮津青年部・両丹青年部・但馬青年部 主管) 於…オンライン
10月16日	裏千家学生茶道研究会合同行事	於…オンライン

ブロック長挨拶

令和五年・六年度ブロック長 小山元也



この度、令和5年より近畿第一ブロック、ブロック長を拝命しました京都南青年部の小山元也と申します。

日頃はお家元様はじめご宗家の皆様、所管の総本部の皆様、各親支部の役員の皆様、先生方、諸先輩方には各地青年

部やブロックの諸活動に対し多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、3年経とうとするコロナ禍では、多分にもれず、各地の青年部活動に大きな変化があったものと思えます。行事の開催への障害、オンライン会議の難しさ、会員減少、青年部活動継続の大変さを肌身で感じております。

一方でお茶という私たちの共通の繋がりは改めて大きなポテンシャルを秘めていることにも気づきました。大きな気づきや励みとなった昨年4月の青年部ナショナルコンファレンス2022。全国各地の青年部約500人がオンラインと現地とで参加し、集うことのすばらしさを感じることができました。開催の前にはブレ行事が開催され青年部による青年部のためのオンライン研修会で全国各地の青年部同士でご縁をつなぐことができました。私たちの足元を見つめなおし変化と共に課題に向き合い、今後青年部としてできるご縁と人のつながり、そこからの研鑽を積み重ねていくことを大切に、更に有意義な青年部活動ができますよう努めてまいります。

2022年4月16日17日
ナショナルコンファレンス2022

於：国立京都国際会館 / オンライン（ハイブリッド）





2022年 8月21日
ブロック研修会 (滋賀青年部 主管)
 於：琵琶湖グランドホテル

2022年 11月13日
ブロック交流会
 於：ダイニング居酒屋 nanana



2022年 11月19日
裏千家学生茶道研究会合同行事
 於：京都市生涯学習総合センター

